

料理が映える素朴で大らかな器——伊賀市

～伊賀焼～



日本六大古窯の一つに数えられる伊賀焼は、枯淡で豪快な味わいが人気を呼んでいま。製品は土鍋や行平、食器や茶陶など、多岐にわたり、特に茶陶において高く評価され、土の味わいと、七度焼と言われる炎の変化が生きた、歴史ある芸術です。

伊賀の豊かな自然の中で、こつこつと堅実に作られ続けてきた伊賀焼には、使う人への心遣いと、良いものを創りつづけていきたいという伊賀の心意気が息づいています。また、この時期には伊賀焼

関宿夏まつり——亀山市

～煌きの夏～



旧東海道の関宿の夏を彩る「関宿夏まつり」。「関の山」(こま)までが精(こま)の語源となった山車が夜の町並みを彩ります。

見どころは「舞台回し」と呼ばれる舞台の回転で、巡行の要所で繰り広げられます。4台そろって行われる場面もあり、その光景は迫力満点です。ぜひ、夏の夕べの華やかなひとときをお過ごしください。

【ひとく】7月21日(土)、22日(日)  
※山車の巡行は午後5時～9時ごろ  
【アクセス】東名阪自動車道

【ひとく】亀山ICより関方面へ約10分

【ひとく】関宿夏まつり実行委員会事務局 (亀山市観光協会内)  
☎0595-5197-8877

陶器まつりが開催され、窯元や陶芸作家達が一同に集まって、さまざまな作品が販売されます。

【ひとく】7月27日～29日  
【ひとく】あやまふれあい公園すばく阿山(伊賀市川合焼尾333767)  
【アクセス】名阪国道王生野ICから車で約8分  
※JR関西本線新堂駅から会場まで無料シャトルバスが巡回します。

【ひとく】伊賀市商工労働観光課  
☎0595-433-2309

お問い合わせ 甲賀市広報課 ☎65-0675 ☎63-4619 伊賀市秘書広報課 ☎0595-22-9636 ☎0595-22-9617 亀山市広報秘書室 ☎0595-84-5022 ☎0595-82-9685

滋賀のちの電話  
第6期「電話相談員養成講座」受講生募集

年間自殺者3万人余、多くの尊い命が失われています。再び生き抜いていく勇氣を持っていただくために「いのちの電話」の活動が相談ボランティアによって支えられています。

※相談ボランティアになるには  
「滋賀のちの電話」が主催する「電話相談員養成講座」に参加し、電話相談に必要な基礎知識の習得や、人の気持ちを感ずるトレーニング等が必要です。約1年半の訓練課程を終了し、認定を受けます。なお、訓練に要する経費は自己負担です。

【受講生募集のご案内】  
◆受講期間  
1年次：2012年9月～2013年8月  
2年次：2013年9月～2014年3月  
※1年次・2年次とも受講が必要です。  
◆受講場所 大津・草津・栗東など  
◆募集人数 30名  
◆費用 1年次受講料 22,000円  
2年次受講料 12,000円  
◆申し込み締め切り  
2012年8月10日(必着)

◎応募手続き等詳細については、旧支所の地域市民センターに設置している案内チラシまたはホームページにてご確認ください。

申込先  
〒5200-11590 新旭郵便局私書箱8号  
NPO法人滋賀のちの電話事務局  
(土・日曜日11時～16時)  
☎/☎077-5552-1281

# 「甲賀ブランド」のロゴマーク募集

甲賀ブランド推進協議会(以下、協議会)では、甲賀市の優れた地域資源を活用した商品などを世界に通じる「甲賀ブランド」として認定することにより、甲賀の魅力を広く発信し、甲賀市の知名度やイメージをより高めていくことをめざしています。そこで、「甲賀ブランド」認定商品に貼付するロゴマークのデザインを募集します。

- 募集内容  
協議会が支援し、甲賀ブランド認定審査会が認定する「甲賀ブランド」認定商品に貼付するロゴマークで、ロゴタイプ「甲賀ブランド」を組み合わせたデザインとすること。「甲賀ブランド」認定商品の価値を広く全国に向けてPRできるロゴマークであること。
  - 応募資格  
不問。個人、グループを問いません。
  - 応募締切  
8月10日(金) 必着
  - 副賞  
優秀作品3点を選定し、うち1点を採用。採用作品には賞金10万円を贈呈します。
  - 審査・発表  
協議会において審査決定後、9月初旬に応募者に直接通知するほか、採用作品及び優秀作品については市及び協議会ホームページへ掲載します。  
※「甲賀ブランド」のコンセプトや詳しい応募方法、応募用紙等は募集要項をご覧ください。募集要項は、観光戦略推進室で配布するほか、市及び協議会ホームページ(<http://koka-brand.jp/>)からもダウンロードできます。
- 「こうかブランドマネジメント会議」は「甲賀ブランド推進協議会」に名称変更しました。(平成24年5月～)

問い合わせ・応募先  
〒528-8502 水口町水口6053番地  
甲賀市役所 観光戦略推進室内 甲賀ブランド推進協議会 「甲賀ブランド」ロゴマーク募集係  
☎65-0708 ☎63-4087 ✉koka10352000@city.koka.lg.jp

## みんなの窓

### もう一つのロンドンオリンピック

いよいよ今月27日から、4年一度のオリンピックがロンドンで開催されます。スポーツを通じた人間育成と国際平和が目的とされますが、日本選手の健闘も期待したいところです。

ところで、8月29日から「もう一つのオリンピック」がロンドンで開催されます。それは「ロンドンパラリンピック」です。

「パラリンピック」(Paralympic)は、もとも半身の不随(paraplegic) + オリンピック(Olympic)の造語で、主に脊髄を負傷した兵士たちのリハビリの一環として始まりました。

その後、出場者も車いす使用者から対象が広がり、アスリートによる競技スポーツへと発展してきました。そこで1985年から、もうひとつの「Paralympic」+ オリンピックという意味の「パラリンピック」が公式名称になりました。

オリンピック後と同じ場所でパラリンピックを開催することになったのは、1988年のソウル大会以後ですが、実は1964年の東京大会でも、全身体障がい者を対象にした国内大会が同一都市で行われています。こうしてパラリンピックは、「もうひとつのオリンピック」として、さらなる発展を続けています。この夏は、選手たちの熱戦に身も心も熱くなりそうですね。

「言い訳せずに、前へ進もう」(北沢洋匡)

僕らは何かひとつのことに取り組んでいると、必ず壁に直面する時が訪れます。そんなとき僕らは多くの場合、「女性だから」「もう若くないから」「都心部ではないから」——様々な言い訳を見つけてきては、自分を安心させます。でも、僕は20歳の頃、ひとりで逃げた経験があります。「言い訳をして逃げる人間にだけは、なるはやめよ!」

なぜなら僕のすぐ目の前には、みなさんよりもずっと強固な壁が見え、それでいて説得力がバツンの言い訳が転がっていただけです。

「僕には手足がないのだから、それはできません!」  
「車いすの僕に、それは難しいです!」  
もし、僕がこんなことを言い出したら、きっとみなさん、「うん、うん。そうだよね」と納得しちゃうと思うんです。僕がこのカラダを、この障害を言い訳として使いはじめたら、きっとこの先の人生、何もなくても済んでしまう。だから、「そんな困難に直面しても、言い訳をして逃げる」ことだけはやめようと思ったんです。

どんな苦難にも、逃げることなく立ち向かっていく——ロンドンパラリンピックに出場する選手のみならず、きっとそんな姿勢が学べることを思っています。

ロンドンパラリンピックに向けた日本選手の挑戦を伝えたい「The Road to London」  
[http://challengers.ty.london/INPO法人STAND\(連立\)には、北沢洋匡さんをはじめ、著名な方々の応援メッセージが掲載されています。](http://challengers.ty.london/INPO法人STAND(連立)には、北沢洋匡さんをはじめ、著名な方々の応援メッセージが掲載されています。)

問い合わせ  
人権推進課 人権教育推進係  
☎65-0693 ☎63-4582